

2004年

沖電気工業(株) 生産サービスカンパニー

環境アニュアルレポート

【目次】

1. ごあいさつ
2. 地区概要
3. 事業活動と環境への影響と環境方針
4. 環境管理体制
5. 2003年度 環境目標 及び 実績
6. 2004年度 環境目標
7. 環境負荷低減活動
8. 緑化活動 (ケナフ栽培)
9. 遵法
10. 環境教育・啓発
11. 環境リスクマネジメント
12. 環境監査
13. 地域との共生

このレポートは、2003年度（2003年4月1日～2004年3月31日）の沖電気工業株式会社 生産サービスカンパニーの環境に関する活動実績をもとに作成しております。

1.ごあいさつ

沖電気 活動スローガン



環境も沖の大事なお客様



環境アニュアルレポートを発行するにあたり、沖電気工業(株) 生産サービスカンパニー (略称 :MSC)を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

2003年 10月より生産サービスカンパニー :プレジデントの拝命を受け、生産サービス部門における事業経営と環境活動に携わって参りました。沖グループの中でも生産サービス事業を担うMSCとしましては、ユーザの要求を的確に捉えた製品・サービスを素直にお届けすること、すなわち、必要としているお客様に、必要な時にタイムリーに、品質の高いサービス・製品を妥当な価格で必要量を提供し、安心して使って頂くことが今まで以上に求められております。

このような生産サービス事業において、如何に環境を配慮した生産サービス業務を展開していくかがポイントであり、事業経営と環境活動との調和を図りつつ、常に社会的責任を重視した事業運営を図りたいと考えております。

MSCでは、「富岡地区」と「本庄地区」のマルチサイトとして、環境マネジメントシステム (ISO14001)を構築し、環境改善活動に取り組んでおります。“クロムフリー表面処理鋼板への切替え”や“鉛フリーはんだの適用拡大”の展開を図るとともに、両地区における埋立廃棄物の“ゼロエミッション”の維持等、環境負荷低減を推進しております。

今後は更に日常業務の改善を通して、積極的な省エネルギー、省資源、廃棄物の抑制・再利用に努めて参ります。

最後に、本レポートをご一読頂き、MSCの環境活動に取り組む姿勢や活動の一端を皆様にご理解賜るとともに、今後の活動に向けて忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

沖電気工業株式会社
生産サービスカンパニー
プレジデント 杉本 晴重

2.地区概要

MSC(富岡地区)



MSC(本庄地区)

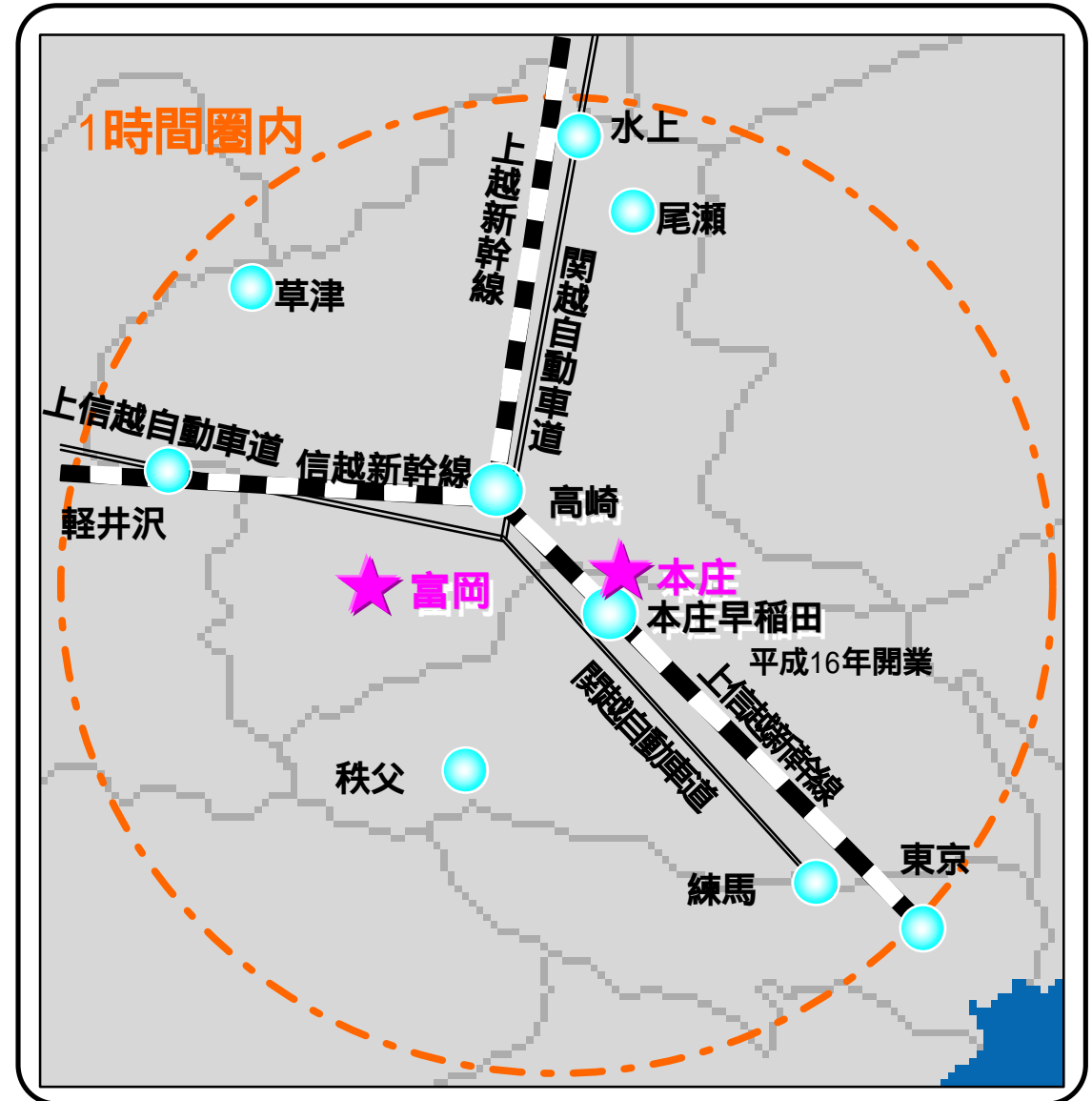


富岡地区】

所在地	群馬県富岡市富岡 1256 - 1 (〒370-2316)
工場設立	昭和35年(1960年)
従業員数	約480名(関企含む)
敷地面積	62,208 m ²
建築面積	42,040 m ²
用途地域	工業専用地域
事業内容	情報端末装置の部品の製造

本庄地区】

所在地	埼玉県本庄市小島南 4 - 1 - 1 (〒367-8686)
工場設立	昭和37年(1962年)
従業員数	約950名(関企含む)
敷地面積	131,000 m ²
建築面積	52,115 m ²
用途地域	工業専用地域
事業内容	通信・伝送・情報端末装置、及びEMS(受託生産サービス)製品の製造



3. 事業活動と環境への影響と環境方針

3.1 本庄地区での事業活動と環境への影響

生産は、組立及び検査工程が主であり、事業活動で環境に影響を与える項目としては、電力と紙の使用が大きなウエイトを占めています。

但し、使用量が少なくとも、化学物質の使用もあり、廃棄物の発生もあるため多少に関わらず環境に影響を与える項目について、環境負荷低減項目としてマネジメントプログラムに取り込んだ活動を実施しています。

3.2 富岡地区での事業活動と環境への影響

富岡地区はメカトロ部品の生産拠点であり、部品加工、表面処理の工程を持つ工場です。事業活動で環境に影響を与える項目は、上述の通り、エネルギーの使用 産業廃棄物の排出 有害化学物質の使用があり、上記の環境負荷低減に取り組んだ活動を実施しています。

生産サービスカンパニー 環境方針

環境理念

沖電気工業（株）生産サービスカンパニーは地球環境との調和を最大限に尊重し全ての企業活動を通じて、環境にやさしい社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 通信・情報機器および受託製品をはじめとした生産活動において環境影響を的確に捉え、環境保全と汚染の防止等、環境リスクの低減に努めます。
2. 環境関連の法規、条例及び当カンパニーが同意するその他要求事項を遵守することはもとより、自主管理基準を設け行動します。
3. 環境目的・目標を設定し経営者による見直しを定期的実施すると共に効率的かつ効果的な環境マネジメントシステムの運用に努めます。
4. 限りある資源を大切にすることを基本に、エネルギーの効率利用、業務改善等による積極的な省エネルギー、省資源、廃棄物の抑制・再利用に努めます。
5. 化学物質の使用抑制、グリーン調達、環境配慮型製品の製造への参画等により環境にやさしい製品の提供に努めます。
6. 緑化活動や施設の提供等を通して地域社会に貢献します。
7. 環境方針は、全構成員に周知すると共に一人一人の環境意識の向上に努めます。

この方針は社内外に公表します。

1996年10月 1日制定
2004年 4月12日改定

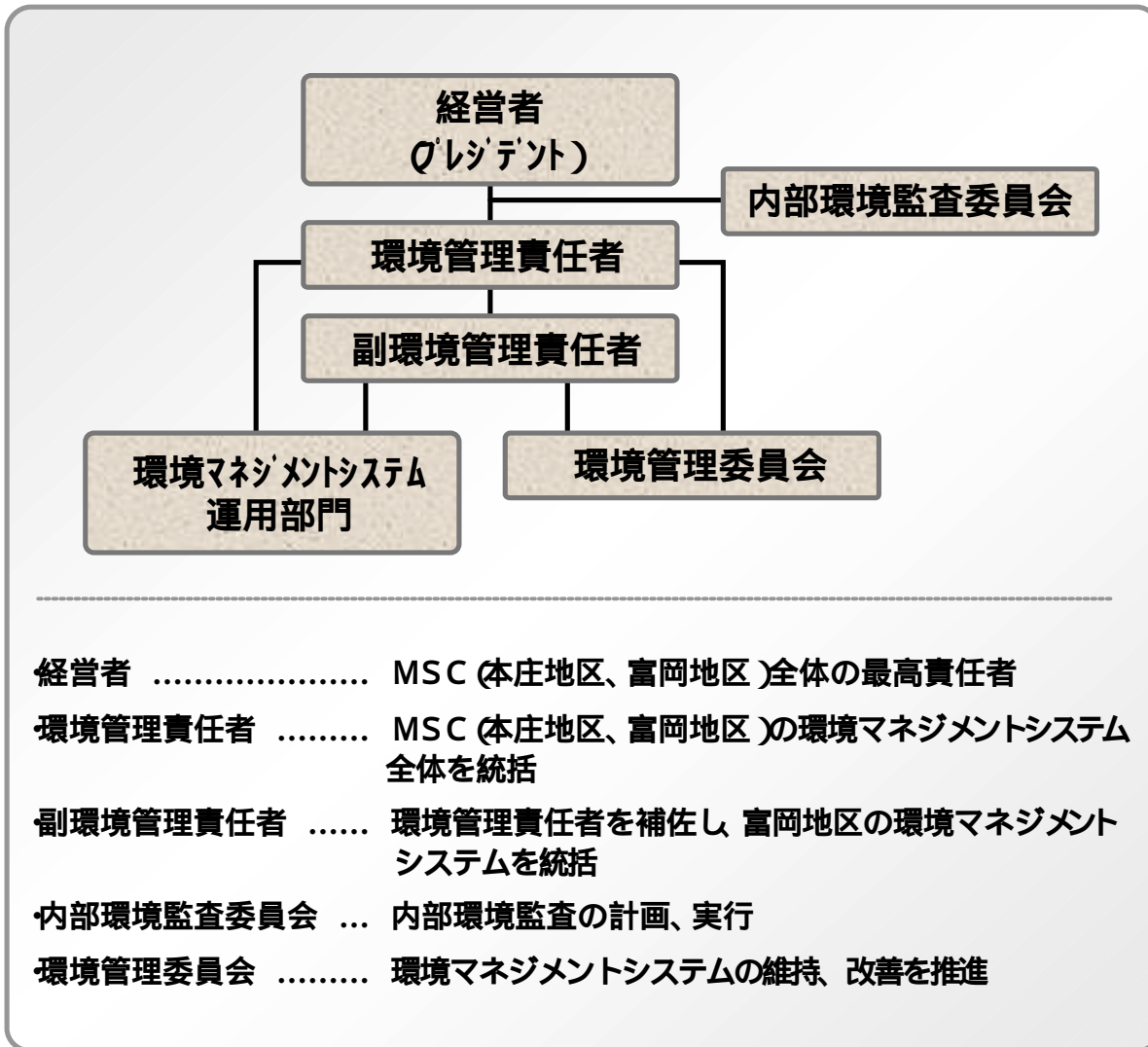
沖電気工業(株) 生産サービスカンパニー

プレジデント : 杉本 晴重

4.環境管理体制

MSCでは、下記組織を編成して環境マネジメントシステムの推進にあたり、沖電気はもとより、本庄・富岡地区内の関連会社、協力会社もひとつとなった活動を進めております。(1998年2月:日本環境認証機構殿(JACO)の認証を取得)

《 MSC環境管理体制 》



【 ISO14001登録証 】



5. 2003年度 環境目標 及び実績

MSCでは、環境に影響を与える事業活動の調査・評価を実施し、その評価結果を基に毎年目標を設定し環境負荷低減活動を推進しております。

2003年度 環境目標と実績

環境側面	環境影響		02年度実績	目標	03年度実績	結果	施策概要
CO ₂ の排出	地球温暖化		6,339 t-CO ₂	電力使用量(CO ₂ 換算)02年度比2%減 6,212 t-CO ₂ 以下	6,402 t-CO ₂	(注)	・業務の効率向上 ・レイアウトの見直し等 【注：生産増及び気温の上昇により電力使用量としては未達であるが、業務改善活動件数としては達成している為】
紙の使用	森林伐採 砂漠化		6,174千枚	紙の使用量 02年度比1%減 6,112千枚以下	5,148千枚	業務改善活動 43件	・システムの変更による ペーパーレス等
廃棄物の排出	廃棄物処分場の逼迫	埋立	再資源化率 99.7%	再資源化率 99.8%以上 (ゼロエミ継続維持)	99.8%		・塗装方法の改善による 埋立廃棄物の減量
製品負荷 (製品化学物質使用・排出)	製品廃棄時の負荷 (処分場の逼迫) (有害物質の排出)	製品	12月以降クロムレス鋼板の採用 鉛フリー半田の一部導入開始	環境配慮型製品開発、環境配慮型製品製造の標準化、15件以上/年提案 グリーン調達 の推進	提案件数：19件 2,500件(調達部)		・PRTR物質含有塗料の代替 ・塗装方法の改善による有機溶剤使用量削減 ・グリーン調達調査 【顧客要求に基づく調査】
地域との融和	アメニティー向上		・グラウンドの開放 ・公園への植樹 ・緑の基金へ寄付	グラウンド等の社有施設開放、地域清掃等への参画 ケナフの栽培、森林ボランティアへの参画	社有施設の開放、地域清掃の実施(富岡) ケナフ栽培、森林ボランティアへの参画	・グラウンド等の施設の開放 ・地域清掃への参画 ・工場緑地改善 ・ケナフの栽培	

6. 2004年度 環境目標

2004年度においては、日常業務の改善を通して、更に省エネルギー / 省資源 / 廃棄物の抑制・再利用を推進し、環境負荷低減に取り組んで参ります。

2004年度 環境目標

環境に著しい影響を与える側面	法規制及びその他要求事項	環境目標	
エネルギーの使用 (炭酸ガスの排出による地球温暖化)	省エネルギー法 地球温暖化対策法	電力の使用を2003年度比2%以上削減する ・ 電力使用量：2004年度 1,970万KWH ・ 換算炭酸ガス排出量：6,274t	<ul style="list-style-type: none"> ・ M S C 全体で、業務改善テーマ45件以上を推進する (例) ・ 業務の効率化 ・ 品質の向上 ・ スパ-スの削減 ・ 生産性の向上 ・ 設備の集約 等
紙の使用 (森林伐採) (砂漠化)	廃棄物処理法	紙の使用量を2003年度比2%以上削減する ・ 紙使用枚数：2004年度 5,368千枚	
廃棄物の排出 (処分場の逼迫) (炭酸ガスの排出) (有害物質の排出)	廃棄物処理法	ゼロエミッションの継続維持 ・ 廃棄物の再資源化率：2004年度 99.85%以上 廃棄物の発生量を2003年度比1%以上削減する ・ 廃棄物発生量：2004年度 2,435 t	
環境影響化学物質の抑制 (有害物質の排出)	P R T R 法 グリーン調達	環境影響化学物質の使用量を2003年度比2%以上削減する (年間1t以上使用のPRTR物質) ・ PRTR物質の使用量：2004年度 8,835kg ・ グリーン調達調査を推進する ・ 取引先環境対応状況調査と化学物質使用抑制依頼の徹底を図る	
アメニティーの向上	工場立地法	<ul style="list-style-type: none"> ・ グランド等の社有施設を開放する ・ 地域清掃等へ参画する ・ 各地区工場内でケナフの栽培を拡大実施 	

7.環境負荷低減活動

活動は、5項に記載した項目について、環境負荷低減活動を実施して参りました。

認証取得時より取り組んだ項目については、手順書を作成し対策項目が継続的に実施できるよう監視して、更に新年度毎に取り組むべき項目を新たに策定し、スパイラルUPを図っております。

2003年度に実施した各項目毎の主な取り組み内容を以下に記載します。

省エネ（地球温暖化防止）活動

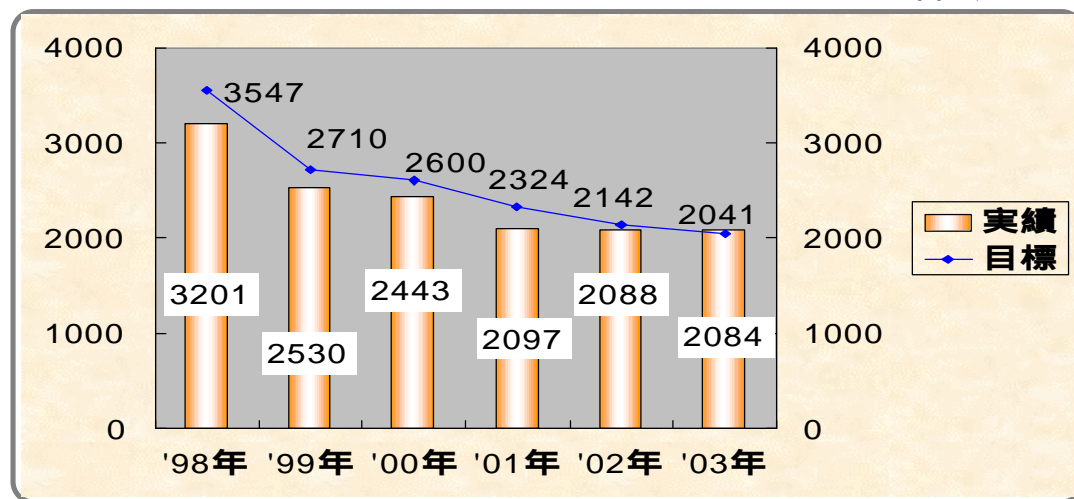
レイアウト変更等による消費電力の削減
 照明設備のインバータ化
 変圧器の更新
 夜間蓄熱方式の冷凍機の導入
 PCディスプレイのLCD化

レスペーパー活動

電子承認システムの確立
 規定発行のWEB化
 発行文書・記録の電子化
 コピー用紙、事務用紙の削減

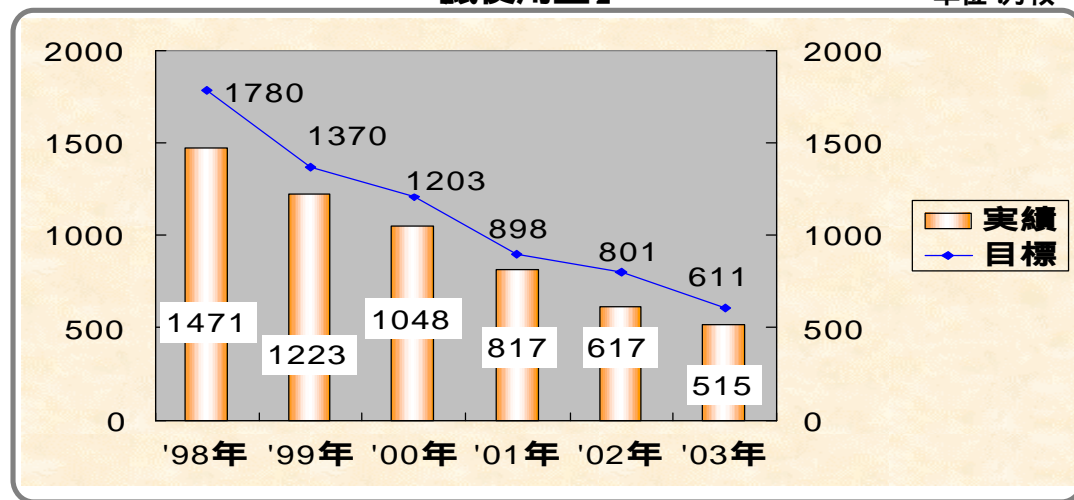
【電力使用量】

単位：万kwh



【紙使用量】

単位：万枚



7.環境負荷低減活動 , 8.緑化活動 (ケナフ栽培)

廃棄物削減活動

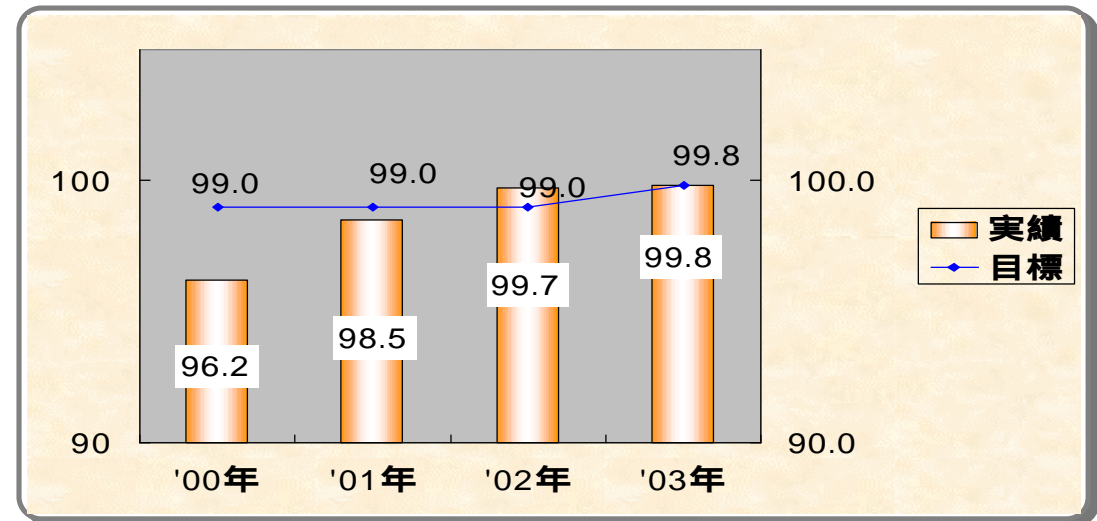
廃棄物削減活動は、“ゼロエミッション化”を重点項目として取り組み、MSCとしては、2002年度に達成。2003年度は、更に目標値を高く設定し、廃棄物削減に取り組んでおります。

[沖グループのゼロエミッションの定義]
再資源化率：99.0%以上

分別廃棄の推進
再資源化処理の開拓
廃棄作業服のリサイクル化

再資源化率】

単位：%



8.緑化活動 (ケナフ栽培)

MSCでは、緑化活動の一つとして2003年度初めて“ケナフ栽培”に取り組みました。

ケナフは他の植物に比べ成長が早く、炭酸ガス(CO₂)をたくさん吸収することから、地球温暖化防止に少し貢献できると言われています。

栽培したケナフの一部は紙製品化し、会議室等に掲示している環境方針 & 品質方針の用紙として使用しております。

栽培面積：約14m² (各地区)
栽培本数：約100本 (各地区)
紙製品化：A3(約60枚)

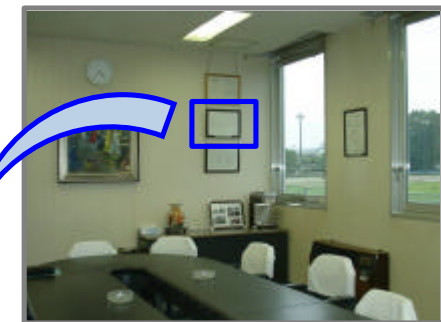
富岡



本庄



[各地区の栽培状況]



[自社栽培のケナフ紙を利用したMSC環境方針]

9. 遵法

MSCでは、新法にいち早く対応するため、本社の環境情報の入手や、定期的に法律関連掲載のインターネット検索等を実施し遵法対応を図るとともに、各種の測定に関しては自主管理値を設定し、これに基づく日常管理に努めております。

水質関係

〔工場排水 (有害物質)〕

	分析項目	単位	(市)下水道基準	自主管理値	測定値 (最大値)
富岡地区	アルキル水銀化合物	mg/l	不検出	不検出	不検出
	水銀又はその化合物	mg/l	0.005	0.0005	不検出
	カドミウム又はその化合物	mg/l	0.1	0.005	不検出
	鉛又はその化合物	mg/l	0.1	0.005	不検出
	有機リン	mg/l	1.0	0.01	不検出
	6価クロム化合物	mg/l	0.5	0.01	不検出
	砒素又はその化合物	mg/l	0.1	0.005	不検出
	シアン化合物	mg/l	1.0	0.033	不検出
	ポリ塩化ビフェニール類	mg/l	0.003	0.0001	不検出
	1,1,1-トリクロロエタン	-	3.0	0.0005	不検出
	トリクロロエチレン	mg/l	0.3	0.002	不検出
	フッ素及びその化合物	mg/l	8	3.3	0.60

〔食堂排水〕

	分析項目	単位	(市)下水道基準	自主管理値	測定値 (最大値)
本庄地区	PH	-	5~9	5.2~8.1	6.1~7.3
	BOD	mg/l	600	550	249
	ルマハキサン	mg/l	30	28	24
	リン	mg/l	32	10	4.7
	窒素	mg/l	240	158	46
	ヨウ素消費量	mg/l	220	12	6.8

振動関係

	時間区分	項目	区域規制値	自主管理値	測定値 (最大値)
富岡地区	昼間 (8:00~19:00)		7.0 dB以下	6.8 dB以下	3.7 dB
					3.0 dB
	夜間 (19:00~8:00)		6.5 dB以下	6.3 dB以下	3.0 dB

大気関係

〔スクラバー〕

	分析項目	単位	規制値	自主管理値	測定値
富岡地区	硝酸	cm ³ /Nm ³	---	1.0	不検出
	塩化水素	cm ³ /Nm ³	80	0.5	不検出
	ニッケル	mg/Nm ³	---	0.2	不検出
	弗化水素	cm ³ /Nm ³	---	0.1	不検出

〔同所排気装置〕

	分析項目	単位	規制値	自主管理値	測定値
本庄	IPA	ppm	---	76	< 5.0
	鉛化合物	mg/m ³	---	0.044	< 0.02

騒音関係

	時間区分	項目	区域規制値	自主管理値	測定値 (最大値)
富岡地区	昼間 (8:00~18:00)		7.0 dB以下	6.8 dB以下	6.6 dB
					6.2 dB
	夜間 (21:00~6:00)		5.5 dB以下	5.3 dB以下	4.8 dB

	時間区分	項目	区域規制値	自主管理値	測定値 (最大値)
本庄地区	昼間 (8:00~19:00)	A	7.0 dB以下	6.8 dB以下	5.7 dB
		B		6.5 dB以下	4.9 dB
	朝 (6:00~8:00) 夕 (19:00~22:00)	A	6.5 dB以下	6.3 dB以下	5.1 dB
		B		6.0 dB以下	5.2 dB
	夜間 (22:00~6:00)	A	6.0 dB以下	5.8 dB以下	5.0 dB
		B		5.5 dB以下	4.5 dB

A : 工業専用地域側 , B : 住居地域側

10.環境教育 啓発

10.1 環境教育

MSCでは、全構成員一人ひとりの環境意識の向上を図り、すべての企業活動において責任ある行動ができるよう環境教育を行なっております。

【一般教育】 全構成員に「環境方針 環境システム 環境の重要性」を認識させるために実施
規定改版時教育 (随時)

【新入社員教育】 ... コーポレートによる全体教育と配属時の各カンパニー対応の教育を実施

【専門教育】 内部監査員、及び専門業務に従事する社員への教育を実施
内部環境監査員育成 (随時)
緊急時対応訓練 (定期)
公害防止管理者などの専門資格 (国や県)の取得推進



〔危険物倉庫での緊急時訓練の様子〕

10.2 環境方針カード & 掲示板

MSCでは、環境方針や環境負荷低減活動の周知、展開として、携帯カードの配布、環境コーナーの設置、ホームページによる情報の共有化等の取り組みを行っています。

《携帯カード》 ... 各個人が携帯

《掲示板》 ... 各所に環境コーナーを設置

全社方針

MSC品質方針

MSC環境方針

環境目標



《掲示内容》

- 全社環境方針
- ・MSC環境方針
- ・MSC環境目的・目標
- ・マネジメントプログラム
(各職場の取り組み内容 & スケジュール)
- ・MSCで取り組んだ主な環境活動
- 各種表彰

11.環境リスクマネジメント / 12.環境監査 / 13.地域との共生

11.環境リスクマネジメント

環境に対するリスクは、毎年、MSCで使用される環境影響物質等を中心に「環境影響評価」を実施し、環境に負荷のかかる項目を登録しています。

登録された項目(作業)に従事する要員には、定期的な教育・訓練を実施して緊急事態への対応方法を修得させています。

12.環境監査

MSCでは、環境マネジメントシステムの確実な実施、目標に対する取組み状況、法的要求事項に対する遵守状況等の確認を目的に環境監査(内部/外部(JACO殿))を定期的に行っています。

内部監査におきましては、内部環境監査委員会を設置し実行にあたり、2003年度より、品質マネジメントシステムとの合同監査も一部開始し、監査の効率化も推進しています。

また、外部監査(JACO殿)におきましては、1998年2月に取得以降、2回目の更新審査を受審し、認証の継続を戴いています。

13.地域との共生

地域との融和を図るため、「本庄市 緑の基金」に寄附し、緑化の推進を図るとともに、工場周辺の清掃、グラウンドの開放、及び森林ボランティアへの参加等の活動を行なっています。



〔『ほんじょう緑の基金』感謝状〕



〔『富岡：地域清掃』の様子〕

問い合わせ先

生産サービスカンパニ - CS・ISO推進チーム
TEL 0495-25-1241、FAX 0495-25-1415
E-mail msc-ecorule-iso@oki.com